

全市民に商品券を配布 新型コロナ対策へ多くの質問

一般質問

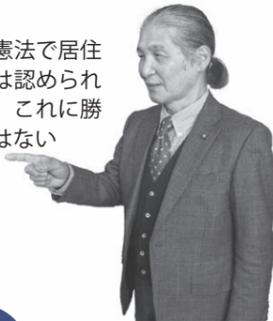
今議会での一般質問は、新型コロナウイルス感染症対策のため、1人の持ち時間を通常より10分短い30分に行われました。11人中9人が新型コロナ対策について質問しました。



市長の施策のほうが住民の権利より上位にあるということになるのか

答弁：

日本国憲法で居住の自由は認められている。これに勝るものはない



森上 昌生 議員

ここをききました

・近藤市長の政治哲学を問う

「施策全てに批判的な方が高梁市へ住まれることがどうなのか」という発言の真意は

市長 市長の考える民主主義、民主政治とはどういうものか。

森上 「施策全てに云々」という発言は、要するに自分の施策に批判的な方は高梁から出ていけばいいという、全体主義的な考え方につながるのではないか。こういった発言をすることは問題ではないか。

市長 当然いろいろな意見があることは承知しているし、私も個人

としてはそういう意見を持つことはある。批判に対してしっかりと耳を傾けていく気持ちは変わらな。その点について十分に説明できていなかったことは私の説明不足と認めている。

森上 「施策全てに云々」という発言の取り消し、削除がないのは確信犯的な発言と捉えてよいか。

市長 その発言をした覚えは私にはない。どうなのかと言った。

森上 「施策全てに云々」とは他にどのような解釈があるのか。

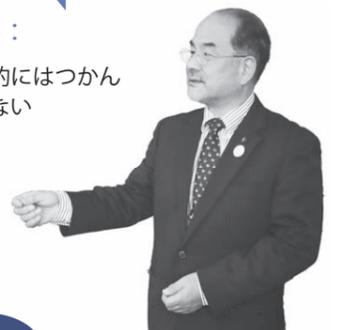
市長 そういう方に一つ一つ説明し、理解していただくよう努力し、高梁に住んでいただきたいと申し上げている。

森上 綿言汗の如しの言葉もある、発言には気をつけてほしい。

健康被害や経済的損失を把握しないと、感染対策も経済支援もできないと思うが

答弁：

具体的にはつかんでいない



石部 誠 議員

ここをききました

・市長の政治姿勢について問う
・新型コロナウイルスでの健康及び経済的被害者への支援を求める

市長の政治姿勢について

石部 日本共産党の市民アンケートによると、合併後地域の暮らしは良くなっていないと感じる方は44%もいる。地域の行政サービスや細かな施策の低下、インフラ整備や生活道の改修の遅れもある。財政の偏りや市長の独断という意見も寄せられた。市役所の近くに住んでいるが身近に感じないなどの意見もある。もっと市民に寄り添うことが必要ではないか。

石部 健康被害や経済的損失の調査はできているか。事業者支援だけでなく、雇止め等で収入を閉ざされた方もいる。市内の相談内容や感染状況が分からないと対策が組めないし、市民が知りたい情報も広報できないのではないかと。政策監 損失は出ているが、具体的な件数や金額はつかんでいない。健康福祉部長 感染症は国・県対応であり、相談・検査数など分からない。情報は少ないと間違った情報も広がる不安をおおることもなる。県に対しては、正しい情報提供に努めていく。

飲食店応援事業として5,000円の食事券を全世帯に支給すべきではないか

答弁：

5,000円の食事券もしくは商品券を全市民に配布するように考えている



川上 博司 議員

ここをききました

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ① 地域経済の下支え支援を強化すること
- ② 医療・介護・障がい福祉サービス従事者等に応援金を支給すべきではないか
- ③ 災害時の避難方法及び避難所の運営について
- ④ 地方創生臨時交付金などの予算を速やかに執行すべきではないか

地域経済を下支えする対策を

川上 飲食業の消費喚起を図るため、子育て世帯に3,000円の子ども食事券を交付したところ大変好評で、使われる方も飲食業の皆様にも大変喜ばれている。さらに飲食店の皆様を応援するため新たに5,000円の食事券を全世帯に支給してはどうか。

市長 新型コロナの感染拡大で影響を受けている事業者への即効性のある経済対策を視野に入れていく。現在、どういう形にするか議論しているが、5,000円の食事券か商品券を全市民に配布していきたいと考えている。

川上 先日の水害訓練において感染症対策避難所マニュアルにそっ

ての訓練も行われている。今後、どのように対応していくのか。政策監 6月3日に感染症対策避難所マニュアルを作成した。これにより、体調の確認、人との距離を確保した避難スペースの設置、間仕切りなどの設置、体調の悪い人を別室へ移動などの感染対策を実施していく。

6月6日の避難所運営訓練

